

学校再開におけるガイドライン

1. 登校後、オープンスペースで健康チェック表を提出、マスク着用の確認を行い教室へ入れる。健康チェック表を忘れてきた児童は、廊下で検温を行う。
2. 室内外ともに、常にマスクを着用させる。【体育の時間は、外させる】
予備のマスクは、カバンに1つ入れさせておく。
3. 休み時間ごとに必ず手洗いを行わせる。その際、児童が集中しないよう、時間をずらしてテープに沿って並ばせる。手ふきタオルは必ず一人1枚持参させる。
4. 休み時間には、水分補給をさせるとともに、熱中症対策も十分に行う。
5. 授業時は、3密を避けるようにし、学習形態の工夫を行う。
当面、調理実習は、行わない。
体育の後は、特に丁寧に手洗いを行わせ、十分な水分補給をさせる。
6. 近距離での会話や大声を出すことは控えさせる。また、人と密着するような遊びは控えさせる。
7. 換気のため、常に各教室の窓とドアは開けておく。
8. 児童が触れる場所（階段手すり、ドアノブ、トイレ蛇口、電気のスイッチ等）は、1日3回消毒し、記録に残す。
9. 児童の体調が悪くなったときは、保健室で休養させ、速やかに保護者に連絡する。
10. コロナウィルス感染に対する不安があり登校しない、また、出席停止措置により自宅待機中の児童に対しては、電話や家庭訪問等で確実に連絡を取り合う。
11. 給食時における指導については、別紙「給食におけるガイドライン」のとおり